地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型） 効果検証
実施年度：平成27年度

交付金対象事業名称	事業概要	事業内容	事業費（円）	うち交付金額（円）	重要業績評価指標（KPI）				評価	今後の方針
					評価指標	目標値	目標年月	実績値		
地方創生総合戦略策定事業	地域資源及び観光資源を有する本町の特性を踏まえ、良質な雇用の創出と人口還流の加速による地域の活性化という好循環を生み出す「中土佐町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定するために必要な調査等を実施する。	・住民を対象とした意識調査の実施経費 ・中土佐町の基礎データ及び地域特性の情報収集・分析経費 ・総合戦略案に関する意見集約に関する事業経費 ・外部有識者を含む推進委員会の運営経費	8,455,000	8,447,000						本事業により総合戦略を策定し、当初の予定どおり事業を終了した。
中土佐町水産加工場創業支援事業	高鮮度の鰹のたたきの販路開拓、販路拡大及び、鰹や町内で水揚げされる他魚種を活用した商品開発等の新事業を行う事業者を支援する。	販路開拓、販路拡大のための取り組み及び新商品の開発等への支援	11,929,046	11,720,000	新規取引商談中の販路	5件	H28.3	8件	基本コンセプトに基づいたゴール（目標）レベルを明確にし、新たな商品開発（ブランド化）を期待する。	販路開拓と商品開発に重点を置いた支援を、加速化交付金を活用して継続する。
					開発中の新商品	3件	H28.3	5件		
四万十水産資源増養殖支援事業	四万十川に生息する水産資源の増養殖技術の確立による安定供給。	・増養殖試験のための人件費 ・増養殖試験のための水槽・試験器具・エサ・種苗等	3,822,490	3,380,000	稚エビ1g生産量	15,000尾	H28.3	227尾	目標値未達成であるが、本事業は前例が少ないうえハードルが高い事業であり、取り組み自体は素晴らしく評価できる。既に改善も図っており今後の成果が期待できる。	平成27年度の失敗をふまえ改善を図り、平成28年度も生産に取り組む。
中土佐町天日塩製塩所創業支援事業	町の遊休施設を活用して、町内の海水を利用し、天日塩の製造を始める事業者(Uターンの若者)の商品開発及び販路開拓等を支援する。	販路開拓、販路拡大のための取り組み及び新商品の開発等への支援	3,992,907	3,900,000	新規取引商談中の販路	3件	H28.3	7件	コストダウン、ブランド発信戦略、新たな商品開発に期待する。	販路開拓と商品開発に重点を置いた支援を、町単独補助金を活用して継続する。
					開発中の新商品	2件	H28.3	3件		
観光プロモーション事業	中土佐町の魅力を発信するためのプロモーションビデオを作成し、動画サイトを用いた発信や種々の機会における観光プロモーションに活用することで、入込客数の増加を図る。	プロモーション映像作成委託料	4,968,000	4,900,000	主要宿泊施設宿泊者数	2%増加	H28.3	0%	プロモーション映像作成に時間を要したため当初予定のPR活動が行えず、目標値未達成であるが、一部完成映像を活用することにより近年の減少傾向に歯止めをかけることができ、今後の更なるPR活動により効果が期待できる。	未達成であるが、近年の減少傾向に歯止めをかけることができた。今後取り組みを発展させるために本事業の実施は必要である。検証結果をもとに事業内容を改善しながら事業を継続し効果が発揮されるようプロモーション活動に努める。
「奥四万十博覧会」開催による広域観光推進連携事業	高幡地域の5市町が連携して協議会を設置し、広域観光博覧会「奥四万十博」を開催し、今後は市町単位の枠組みを取り払い観光というｷｰﾜｰﾄﾞで繋がり一致協力し、観光資源の磨き上げと受入体制の充実、インバウンド対応、既存イベントや体験観光ﾒﾆｭｰを有機的に連携させた魅力ある旅行ﾌﾟﾗﾝを造成し、積極的な情報発信を行い地域観光の継続的な推進を図る。	広域観光博覧会の開催に係る広報、誘客活動、インフォメーションセンターの設置、イベント開催費、臨時職員の人件費及び事務的経費	8,636,000	8,636,000	博覧会開催準備	実施	H28.3	実施	「奥四万十博覧会」を機会に、今後の更なる情報発信に期待する。	「奥四万十博覧会」の開催を通じて県内外での情報発信やプロモーションを集中的に実施するとともに、さらなる認知度の向上と観光客の受け入れ体制の強化につなげる。
					宿泊施設利用者数	10%増加	H29.3	H28年度末評価		
					主要観光施設入場者数	20%増加	H29.3	H28年度末評価		
					各種イベント来客数	20%増加	H29.3	H28年度末評価		